

きたえ やりぬき まなびあう

元気いっぱい 自分から学び 共に高め合う子供



若基小だより

第11号 令和3年11月25日

文責 校長 本村 一浩

11月の「児童虐待防止推進月間」に係る文部科学大臣メッセージ

ぜんこく こども
全国の子供たちへ

大人からたたかれたり、ひどいことを言われたりしていませんか。
これらのことで、あなた自身や、お友達が困っていたら、一人で悩まず、
学校の先生やスクールカウンセラーなど周りの大人に相談してください。

もし、直接相談しにくい、というときは、
「189」（「いちはやく」）に電話してください。24時間つながります。

虐待を専門的に見ている人が、あなたの話を聞いてくれます。
その他にも、文部科学省HPでは虐待をはじめ、様々な悩みや不安を電話やSNS
で相談できる窓口を紹介しています。

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/seitoshidou/06112210.htm



令和3年11月
文部科学大臣

すえ まつ しん すけ
末松信介

ほかにも、相談するところがあります。

ご紹介が遅くなりました。十月は「児童虐待防止推進月間」です。「児童虐待」など、ドラマや小説の中の出來事のように思っているのが現状です。大切な子供たちの人格を尊重し、その人格を守るため、アテナを高くして子供たちのサインや訴えに敏感で

子供(こども)のSOSの相談窓口(そうだんまどぐち)

いじめで困ったり、自分の友人のことで不安や悩みがあったりしたら、
一人で悩まず、いつでもすぐ電話で相談してください。

24時間子供SOSダイヤル(通話料無料)

なやみ言おう



0120-0-78310



誰か聞いてほしい



24時間子供SOSダイヤル

0120-0-78310

→裏面は大人向け

保護者、学校関係者、地域の皆さまへ 「児童虐待の根絶に向けて～地域全体で子供たちを見守り育 てるために～」(令和3年10月26日)

令和3年10月26日(火曜日)
教育

11月は児童虐待防止推進月間です。

子供たちへの虐待は、児童相談所の相談対応件数(速報値)が初めて20万件を超えるなど、極めて深刻な状況です。新型コロナウイルス感染症の影響による生活不安やストレス等に伴い、児童虐待のリスクが一層高まっています。児童虐待により子供たちが傷つき、亡くなるようなことは、何としても無くさなければなりません。

虐待は、殴る、蹴るといった身体的虐待だけではなく、言葉で脅す、無視するなどの心理的虐待、家に閉じ込める、食事を与えない、ひどく不潔にするなどのネグレクトや性的虐待もあります。いずれも子供たちの心身に深い傷を残します。

保護者の皆さま、大切なお子さまの健やかな成長のため、「虐待はしない」と誓ってください。心に余裕がない時はストレスの解消など、皆さま自身が休むことも大切です。子育てに不安や悩みがある時には、身近な人に相談したり、自治体の相談窓口等を頼ったりしてください。

学校関係者の皆さま、日頃から子供たちと接する中で、児童虐待と疑われる事案に気付いた際は、速やかにチームとして対応し、市町村や児童相談所に通告するとともに、関係機関と連携して対応してください。

地域の皆さま、是非、子供や保護者の様子に関心を持って見守ってください。不自然な傷のある子供や子供の養育に無関心な保護者など、虐待が疑われるサインに気付いた際は、最寄りの児童相談所に繋がる全国共通ダイヤル「189」(“いちはやく”)に相談・通告してください。

児童虐待の防止には、家庭・学校・地域が一丸となって子供たちを見守り、育てることが重要です。文部科学省としても、関係省庁とともに取組を推進してまいります。皆さまの御理解と御協力を心からお願い申し上げます。

令和3年11月
文部科学大臣

→ 私たち教職員は「おや? 様子がおかしい」と思った時点で通告するよう義務づけられています。法律

→ 皆さま、「おや? こは様子がおかしい」と感じた段階で「189」にお電話して下さい。通告者の個人情報や当事者に伝わりません。

手遅れにならないために「オール基山」で児童虐待防止を推進してまいります!

末松信介

■ 11/1(木)避難訓練(地震・火災)

すっかり冷え込みが厳しい昨今となりました。どのお家庭も暖房器具を設置されたのではないのでしょうか? この時期怖いのが火災です。先日、学校では、地震発生後に理科室から出火した、という設定で、消防署からお2人の署員さんに来ていただき、避難訓練をしました。209名の児童の避難の様子、教職員の初期消火の様子、共に「万全です。」とほめていただきました。想定される危機から子供たちの生命をしっかり守ってきたいと思ひます。



↑ 職員も初期消火の訓練を。消防署員の方が厳しく見守っておられます。ちょっと緊張しました。